

試合に関する注意事項

試合は、（財）全日本剣道連盟の「剣道試合・審判規則及び同細則」と
そして、試合当日の申し合わせ事項によって行います。

1. 試合時間は、小・中学生とも2分とします。

時間内に勝敗が決しない場合は、時間無制限の1本勝負を実施します。

（延長戦は2分間ずつ区切って実施します）

2. 「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法」
が新規則になりました。

① 鏝ぜり合いにならないようにすること。

なお、やむを得ず鏝ぜり合いになった場合は、お互いに（試合者は）
ただちに分かれること。

＊ 分かれる際は、お互いの剣先が完全に触れない位置まで下がること。

＊ 分かれる際は、剣先を開いたり、下げたりして分かれないうこと。

＊ 分かれる際は、双方がバラバラに下がらない。つばとつばを押し合う力を
利用して一気に下がること。

＊ 分かれる途中に相手の竹刀を「叩いたり」「巻いたり」「逆交差」をしな
いうこと。

② 相手と接触した瞬間の引き技や体当たりからの技は認めます。

③ 相互に分かれる途中の打突は有効としません。場合によっては、合議の
上反則となります。

④ 一方が分かれようとしている場合に追い込んで打突する場合や、分か
れようと見せかけて打突する場合は、合議の上反則となります。

⑤ どちらか一方が分かれようとしない、或いは、分かれようとしている
相手に接近していく行為が見られたら、合議の上反則となります。

⑥ 意図的な時間空費や防御姿勢（勝負の回避）による相手に接近
する行為は、合議の上反則となります。

◎ 小学生は、即反則とせず1回指導を行った後、次に同じようなことをし
たら反則となります。

※ 試合者は、面シールドまたは面マスクを着用すること。